



目 次

- 1 . 業務委託・独立自営業者の労働組合加入について
- 2 . エネルギー・温暖化対策に関する支援制度（国） 福岡 井澤わかな
- 3 . España（スペイン）紀行 - 2（アンダルシア編：その1）
広島 竹岡秀生
- 4 . ケラメイコス ～雪中の筍掘りののぞき
- 5 . 本の紹介 生かされて イマキューレ・イリバギザ 著
ルワンダ大虐殺 レベリアン・ルラングァ 著
- 6 . 今月の言葉

スチロ - ルア - ト
ナガイ毅デザイン事務所 永井毅

業務委託・独立自営業者の労働組合加入について

一頃、名ばかり管理職とか、偽装請負という言葉が頻りに耳にしていました。バイククルライダーについても労働者が自営業者かで問題となり、厚生労働省は通達(注1)を出してどのように判断するかを示しました。働き方の多様化に伴い労働基準法に基づいて単純に判断できない事例が増えてきており、今回取上げた問題もその一つといえます。ただ、従来に無い問題として労働基準法の適用されない自営業者であることを前提にしたうえで労働組合に加入できる労働者と看做すところに特異性があると言えます。これらの人たちの契約内容や労働実態を見ると労働基準法上の労働者であると考えざるを得ませんがだからと言って、労働者として採用しなければならないと短絡すると本人達は当惑してしまうこととなります。しかし一方的に過酷な労働条件を突きつけられれば改善を申し入れざるを得ませんが、そんなことをすれば契約更改がなされない恐れが多分にあります。そのためには自営業者としての立場は維持しながらも労働組合法上の労働者性が認められればユニオンを結成し、またはユニオンに加入して団体交渉により労働条件の改善を求めていく道が開けてくることとなります。労働組合法上の労働者性についての判断基準はこれまで示されていませんでしたが、厚生労働省は平成23年7月25日に労働組合法上の労働者性の判断基準(注2)を示しましたのでこの概要を報告します。

今後は、この基準に基づいて業務委託・独立自営業者の労働基準法上の労働者性の問題は横に置いたまま労働組合に加入可能かどうかの判断をすることになりました。しかし中には労働基準法上の労働者性を訴えて社員としての採用を求める人も出てくることと考え

合わせれば大きな問題を含んだ基準といえなくもありません。

この基準を示す前に労働基準法上の労働者性の基本的な判断要素を示しておきます。

基本的な判断要素	労務提供の形態が指揮監督下の労働であること
	報酬が労務の対償として支払われていること
判断を補強する要素	事業者性の有無
	専属性の程度

業務委託・独立自営業者の場合は、事業主が労働組合に加入して労働条件の改善のために団体交渉を行うためのものですから、この判断基準も次のようになり違ったものとなっています。

労働組合法上の労働者性の判断基準

(1) 基本的判断要素

1 事業組織への組み入れ

労務供給者が相手方の業務の遂行に不可欠ないし枢要な労働力として組織内に確保されているか。

2 契約内容の一方的・定型的決定

契約の締結の態様から、労働条件や提供する労務の内容を相手方が一方的・定型的に決定しているか。

3 報酬の労務対価性

労務供給者の報酬が労務供給に対する対価又はそれに類するものとしての性格を有するか。

(2) 補充的判断要素

4 業務の依頼に応ずべき関係

労務供給者が相手方からの個々の業務の依頼に対して、基本的に応ずべき関係にあるか。

5 広い意味での指揮監督下の労務提供、一定の時間的場所的拘束

労務供給者が、相手方の指揮監督の下に労務の供給を行っている広い意味で解することができるか、労務の提供にあたり日時や場所について一定の拘束を受けているか。

(3) 消極的判断要素

6 顕著な事業者性

労務供給者が、恒常的に自己の才覚で利得する機会を有し自らリスクを引き受けて事業を行う者と見られるか。

また、基本的判断要素の一部が充たされない場合でも直ちに労働者性が否定されないこと、各要素を単独に見た場合にそれ自体で直ちに労働者性を肯定されるとまではいえなくとも他の要素と合わせて総合判断することにより労働者性を肯定される場合もあること、に留意する必要があります。さらに、各判断要素の具体的検討にあたっては、契約の形式のみにとらわれるのではなく、当事者の認識や契約の実際の運用を重視して判断すべきであるとしています。

(注1) バイシクルメッセンジャー及びバイクライダーの労働者性(基発第 0927004 号平成 19 年 9 月 27 日)

(注2) 「労働組合法上の労働者性の判断基準について」下記のサイトから報告書本文等が参照できます。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001juuf.html>

エネルギー・温暖化対策に関する支援制度（国）

福岡 宇都宮法律事務所 井澤 わかな

皆さん、こんにちは、福岡の井澤です。猛暑も去り、すっかり秋の気配ですね。

今回は、平成 23 年度のエネルギー・温暖化対策に関する支援制度（国）についてです（関東経済産業局総合エネルギー広報室編集の「エネルギー・温暖化対策に関する支援制度について」を参考にしました）。

「エネルギー・温暖化対策に関する支援」と一口に言っても、施策担当は、経済産業省、環境省、国土交通省（地方整備局、運輸局）と単一の省ではなく、支援の方向性も調査、技術開発、実証研究、導入補助、利子補給、税制と様々です。また、分野も、太陽光発電、風力発電、太陽熱利用、温度差エネルギー、燃料電池、天然ガスコージェネレーション 1、廃棄物、バイオマス、雪氷熱利用、クリーンエネルギー自動車、小水力発電、省エネルギーと多岐に渡り、事業名は優に 100 を超えます。

支援を受ける対象は、やはり企業が中心になりますが、個人（や民間団体）にも適用される事業があるので、そうした生活に身近なものを複数回に渡りいくつか取り上げてみます。

（1）太陽光発電関係：住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金

住宅用太陽光発電システムを設置する人に定額の補助を実施して、発電システムの導入促進を目的としています。対象者は、居住用建物に対象システムを新たに設置する個人や法人（個人事業主を含む）で、電灯契約をしている人です。

なお、法定耐用年数（17 年）の期間内は承認を受けない限り処分することができないという制約や、個人で申込む場合、排出削減事業への参加 2 も必須となる点にも注意が必要です。対象システムとしては、変換効率が一定以上で、一定の品質・性能が一定期間確保されており、最大出力が 10kW 未満、システム価格が 60 万円 / kW 以下のものです。補助金の金額は、1kW あたり 48,000 円となっています。9 月 22 日現在の平成 23 年度申込受付件数が 11 万 8337 件と、かなり浸透してきた制度といえるのではないのでしょうか。

また、この補助金は、太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）で交付申請できますが、それを前提とした各市町村の補助制度（http://www.kankyo-business.jp/topix/solar_topix_01.html）もあります。

（2）燃料電池：民生用燃料電池導入支援補助金

家庭用燃料電池コージェネレーション 1 システム（家庭用燃料電池システム）の普及促進のことで、対象者は、家庭用燃料電池システム（エネファーム）を設置する人、リース等により家庭用燃料電池システムを提供する人です。

補助率は、従来型給湯器との価格差の 1/2 + 設置工事費の 1/2（補助上限額 105 万円）となっています。

今回は上記二つを取り上げましたが、一つの言葉を調べるとその説明の中に知らない言葉や制度が出てくるといった感じで、こんなに様々な取組みがあったのか、技術が進みつつあったのか、と浦島太郎の気分になっています。

1 コージェネレーション・・・排熱を利用して動力・温熱・冷熱を取り出し、総合エネルギー効率を高めるといった新しいエネルギー供給システムのことです。燃料電池の場合は、水素と空気中の酸素から電気をつくりだし、副次的に発生する熱を蒸気や温水として回収しています。

2 排出削減事業への参加・・・個人が申込む場合は、「国内クレジット制度に基づく排出削減事業等について実施に関する意思を表明」することが必要です。前回取り上げた「グリーン電力証書制度」は環境省の所管ですが、「国内クレジット制度」は経済産業省が所管で、大企業のノウハウをベースに中小企業等が省エネ設備の導入を進め、CO₂ 排出削減分を国内クレジットとして売却するというものです。自宅で消費した電力部分を環境価値として認定するという根本的な考え方は、グリーン電力証書制度と共通します。

国内クレジット制度以外でも、オフセット・クレジット（J-V E R）制度 3 に基づく排出削減・吸収プロジェクト又はグリーン電力証書システムに基づくグリーン電力発電事業への参加でもよいとされています。

もし、既存の国内クレジットの取組みには参加したいものがない場合には、グリーン・リンケージ倶楽

部(国が各家庭のCO2排出削減量を取りまとめ有効に活用する仕組み)に参加するという方法もあります。
3 オフセット・クレジット(J-VER)制度・・・「VER(Verified Emission Reduction)」という言葉は、京都議定書等の法的拘束力をもった制度に基づいて発行されるクレジット(他で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量を発行・認証する制度)以外の、温室効果ガスの排出削減・吸収プロジェクトから創出されるクレジット(検証受け)の意味です。J-VERでは、間伐促進、持続可能な森林経営促進、植林といった森林管理によるCO2の森林吸収量も認証の対象となっている点が特徴です。

井澤さんのバックナンバ - は下記のホ - ムペ - ジで読むことができます。
福岡 井澤わかな(URL <http://www.geocities.jp/monzenroom/>)

(CFP(日本FP協会認定)・福祉住環境コーディネーター2級・法律事務所事務員(宇都宮法律事務所 092-734-0545)
CFP過去問メルマガ。 <http://blog.mag2.com/m/log/0000170579>

España (スペイン) 紀行 - 2 (アンダルシア編: その1)

東雲クリニック 竹岡秀生



前号ではマドリッドとプラド美術館を紹介しました(写真1・2)。

今、アトーチャ駅(写真3)から新幹線AVEに乗ってコルドバに向かっています。髪に赤い花を刺した美しい女性が来ました。あれ?! 紀行文

が・・・刷り替わってしまいました!

Hola!! 紀行文を刷り替えたのは私。名前はカルメンシート。そう、メリメの小説、ビゼーのオペラ、そして映画などを賑わかせたあの魔性の悪女カルメンよ。いつもはハバネラの歌に乗って妖しく登場するんだけど、今は新幹線AVEの中、歌ったら他のお客さんに迷惑だから静か～にお出ましょ。

え? 「ドン・ホセに刺されて死んだのでは?」ですって!? 確かにあの時はね・・・でも魔性の悪女は蘇るのよ。世の中に甘い考えの男がいる限りはね。私の夢中になったのはドン・ホセだけじゃないの。あの哲学者ニーチェだって虜にしたのよ! オッホホホ・・・私の思い違いでなかったらね・・・

実は竹岡さんも私の魔力に取り付かれて、わざわざ日本からアンダルシアに来たんでしょう?・・・え!? 違うの? コルドバのメスキータとセビーリャのアルカサル、それにアルハンブラが目当てですって??・・・まあ悔しい!! 私の方が魅力あるのに!!

だいたい竹岡さんって旅行者なのに“オルゴール付き金時計”を持ってないなんて最低!

だって私の“物語”が始まらないもの。

仕方ないわ・・・という事で、これからは、この私・カルメンが皆さんに“アンダルシア”を紹介するわね。この“お花”をあげるからプラド美術館でお疲れの竹岡さんはAVEの窓際でガーガー寝てなさい! コルドバに着いても放っとくから。



私は占い術が得意でカードで多少の未来を読むけど、歴史は苦手なの。間違っていたら勘弁ね。作家メリメは歴史学者でもあるので、今度、勉強を習うつもりよ。

“アンダルシア”の地名はアル・アンダルス(ヴェンダル人が住んでいる土地)というアラビア語から来ているらしいわ。711年に約1万のウマイヤ朝イスラム軍がイベリア半島に上陸、瞬く間に一部ピネレー山脈を残す全土を制圧してセビーリャやコルドバに拠点を置きました。イスラムの統治はキリスト教、ユダヤ教に対しても寛容だったので、都となったコルドバなど芸術、学問、科学、経済などが発展し繁栄したようです。

やがて、ピネレーの山奥に追い遣られたカソリック勢力はレコンキスタ(失地回復運動)を開始しました。イスラム勢力は本拠地の中東の内紛や王朝の分立などで勢力が弱体化したイスラム勢力はセビリア、コルドバなどの拠点を徐々に失いました。

そしてカスティーリア王国のイサベル女王とアラゴン王国のフェルナンド王が結婚されたことで1479年に強大なカソリック勢力の国、スペイン王国が誕生。イサベル女王は次々に失地をと奪回し、イスラム勢力の拠点はアルハンブラ宮殿のあるグラナダを残すだけとなりました。最後のイスラム勢力・グラナダのボアブディル王は1492年に「無血開城」を決め、北アフリカに去ることになり念願のレコンキスタは完結しました。

この「1492年」はコロンブスが新大陸を発見した年。スペインにとってすごく重要な年なのよ。後世のカルロス5世は、ボアブディル王が抗戦せずにグラナダ開城したことを批判したとも聞いたけど、私個人はその時“ため息や涙”はあったにせよ悪い判断ではなかったと思っているわ。無駄な流血や破壊が回避されて残った美しいアルハンブラは世界遺産にもなってこの国の魅力となっています。

後には異端裁判やエリザベス女王のイギリスとの海戦で無敵艦隊の壊滅、18世紀の王朝を巡る戦争、ナポレオン戦争、ゲルニカ爆撃や市民内戦と悲しく辛い出来事や戦乱も経験し、平和を手に入れています。EUの中ですごく良い経済状態とは言えないかも知れないけど、伝統も文化もある太陽の国。スペインの人達はみんな元気だから絶対に乗り越えられるわ。日本の皆さんも応援して下さい。



さて、右手の窓の外をご覧くださいませ。オリーブの畑が広がっています(写真4)。写真5もアンダルシアらしい景色でしょ。スペインのオリーブの生産量は1400万トンもあって世界一、世界のオリーブの三分の一はスペイン産なのよ。

すごいでしょう？ この“アンダルシア”の土と太陽は私の誇りよ！！



さあ、そろそろAVEはコルドバに着きま〜す(写真6)。ところで、窓際でガーガー状態の竹岡さん！目を覚まさないでマラガあたりまで乗り越して慌てるわよ！！(次号に続く)

ケラメイコス 雪中筍掘りののぞき



私たちの周りにはさまざまな形状をした器があります。今の時代には使い道がなくなり、他の用途に転用されているものがいろいろあります。神棚に置いた榊入。仏壇にご飯を備えるのに使った仏飯器、これは馬上杯と名前を代えています。酒盃を置いた盃台はエッグスタンドに転用されますが、これは種類が多いので盃台をコレクションの対象している人も多いようです。お化粧用の紅を溶いたりした紅皿はぐい呑に転用されています。

私の好きな「のぞき」は本来、宴会等の席でそれぞれのお膳に酢やお醤油を入れておくため使用されたようです。これも今ではお酒を呑むための器が単にコレクションの対象として集められる以外その用途がないのかもしれませんが、草花を入れて楽しむこともできますし、コーヒーのミルク入れや、メイプルシロップなどを入れる器としても面白いと思います。こうした自分なりの用途を見つけるのがやきものの楽しみ方でもあります。そば猪口にしてものぞきにしても形こそバリエーションが少なくても、図柄については同じものを見る機会が少ないと思えるほどさまざまなものが描かれています。風景もあれば文字もあり、幾何学文様もあったり、動植物や人間までさまざまなものがあります。また和歌が記されたり、吉祥文といわれるものや説話を描いたものなどあり何かのテーマ、例えば文字、竜の絵や蝙蝠の絵などに限定して集めると名品を系統もなく集めたコレクションよりは評価されるものとなるといえます。私自身そうしたこだわりはなく面白そうなものを集めているだけ



ですが、そば猪口だけは小ぶりでぐい呑に使用できるものかと思いつつもなかなか小ぶりなものが少ないし、気に入った図柄にも出会わないのが現状です。そうは言いながらも長い間には自分の思いと一致し、当然価格についてもそうですが手ごろなものが突然出現してきます。それを確実にゲットできるかはそれが本物か偽物かの推測と価格のバランスと最後はそれらを超えた強い思いがあるかどうかにかかってきます。インターネットの世界が中心ですから手元に来ないことには最終的な満足度を判断できません。あまり期待していなかったけども以外に面白かったということが時々あるので「買って、手元においてみなければわからない。」

ので値段が張るものについてはある程度のところであきらめてしまわざるを得ないことが多いのは残念ことではありますが・・・。自分にとって楽しみではあっても関心のない人にとってはガラクタでしかないのいずれは不燃ごみで処分されてしまうのかもしれない。しかし数百年の年月を生き延びてきたものたちを次の世代に引き継がなければ収集してきた意味もないといえます。そうしたものをリサイクルしていく機能がインターネットのオークションにあるといえます。

今回掲載したのは、中国から伝わった「廿四孝」の中にある物語に材をとった雪中の筍掘を描いたものです。この物語は、病気の母親が真冬に筍を食べたいというので、雪の中を筍探しに出かける息子の孝行心に天が雪の中に筍を生やすというものです。さまざまな図柄があるので集めてみると面白いのですが、なかなか見る機会も少ないので時間がかかるとおもいます。

本の紹介

生かされて イマキュレ・イリバギザ 著 PHP 研究書 1600 円
ルワンダ大虐殺 レベリアン・ルラングア著 晋遊社 1300 円

本屋さんでノンフィクションの棚を眺めていたらルワンダ大虐殺の中を生き延び、家族や仲間たちすべて殺されながらも神を信じ、敵であるフツ族の人たちを許すことができた女性の書いた本と紹介されていた「生かされて」が目につき眺めてみました。ルワンダ大虐殺がどのようなものか分からないまま興味を持ち読んでみました。「ルワンダ大虐殺」の方も同じように生き残った著者が書いたものですが、こちらは虐殺の現状を目の当たりにし、自らも片手を切り落とされ、片目をえぐられ奇跡的に生き残った著者の書いたものです。

このような大虐殺が同時代に行われながら私の記憶の中には全くありません。ポルポトによる大虐殺の状況は知らないまでもひどい様相は多少は頭にありますが・・・この事件は少数派のツチ族が多数派のフツ族に虐殺されたもので 100 日間に 100 万人のツチ族が虐殺されたといわれています。「ルワンダ大虐殺」にはそのあたりの状況が子細に報告されており常軌を逸したヒステリー状況の増埒の中を生き延びたこと自体奇跡としか言いようがありません。一方、「生かされて」はフツ族の牧師さんの自宅のトイレに 6 名の仲間とともに数カ月隠れ、その後、虐殺の現場の中を生き延びた女性の記録です。

おなじカトリックの信仰を持ちながら一方は神への信仰を持続し、家族や仲間を虐殺したフツ族を許し、他方は神を否定し、フツ族への憎しみを募らせていきます。どちらが正しいかというとらえ方をするような問題ではなく、それぞれの思いをそのまま認めなければならないでしょう。私自身後者の方に共感を覚えます。しかしそれでも彼の中に神はいるはずです。今の日本の平和な生活の中できれいごとを言っている人たちの中にこそ神はいないのではないのでしょうか。昼間に提灯をぶら下げて神を探さないように警鐘を与えてくれる本でした。

言葉

神様、私を赦してください。
怒りと苦渋に満ちた祈りになってしまうでしょうから。
まだあなたは存在しているのかもしれませんが、
私はもうあなたを信じていません。
私の信仰は、
母の瞳にまたたく光と共に揺らぎ、
その瞳が永久に閉ざされた瞬間に失われました。
母の最後の吐息と共に私の信仰の火もきえたのです。

ルワンダ大虐殺 レベリアン・ルラングア著 P229

発行所

医事業務支援センター・小松社会保険労務士事務所
テニスサークル アレオパゴス会議
〒734-0045 広島市南区西本浦町 14-11-511
携帯 090-7590-0215 Tel・Fax 082-285-9039
e-mail k.komatsu@do.enjoy.ne.jp <http://srk.2002.com/>
平成 23 年 10 月 1 日 発行